

平成30年度
台東区観光統計・マーケティング調査

報 告 書

平成31年3月

台 東 区

目次

調査概要	1
1 調査目的	3
2 調査期間	3
結果概要	5
1 台東区の観光客数	7
2 観光消費額	8
3 滞在時間	10
4 来訪回数	11
5 来訪者の台東区の印象	12
第1章 観光を取り巻く環境	13
1 日本全体の観光動向	15
(1) 日本人旅行者の動向	15
(2) 訪日外国人旅行者の動向	18
2 東京都の観光動向	22
(1) 訪都日本人旅行者の動向	22
(2) 訪都外国人旅行者の動向	24
(3) 東京都内宿泊施設の状況	28
3 観光需要に関する社会的変化	33
(1) 日本における人口減少と交流人口の増加	33
(2) 国内観光における競争の激化	34
(3) 観光需要に関する価値観の多様化	35
(4) 物見遊山型の旅からテーマ型の旅へ	35
(5) 団体旅行から個人旅行へ	35
第2章 観光入込客数及び観光消費額の推計	37
1 調査概要	39
(1) 調査フロー	39
(2) 調査内容	40
2 調査結果	42
(1) 観光地点等入込客数調査	42
(2) 来訪者パラメータ調査	43
(3) 宿泊客数調査	43
3 パラメータの設定	45

4	観光入込客数及び消費額の推計	47
(1)	観光の定義	47
(2)	推計フロー	48
(3)	推計結果	50
(4)	調査結果の推移	51
第3章 マーケティング分析		53
1	外国人モニターツアー調査	55
(1)	調査概要	55
(2)	調査結果	58
2 来訪者パラメータ調査		67
(1)	調査結果（サンプル属性）	67
(2)	調査結果（まとめ）	70
(3)	調査結果（項目ごと）	75
資料編		155
1	来訪者パラメータ調査の結果（集計表）	157
2	アンケート調査票	194

調査概要

1 調査目的

本調査は、本区への誘客促進及び今後の観光ルート開発等に関する観光都市づくりの施策展開に資することを目的に、観光統計の整備と観光客のマーケティング分析を行い、今後の観光施策における基礎資料とするものです。

2 調査期間

本調査における観光入込客数は、観光庁の「観光入込客統計に関する共通基準（平成21年12月策定、平成25年3月改定・観光庁）」（以下「共通基準」という。）及び前回の調査と同様に、「年度」ではなく「暦年」による観光入込客数等の推計を行いました。そのため、調査の対象期間は、平成30年1月から同年12月までの1年間としました。

結果概要

1 台東区の観光客数

平成30年の台東区の観光客数は、観光地点等入込客数調査や来訪者パラメータ調査、宿泊客数調査の結果、5,583万人と推計されました。前回（平成28年）と比べ、522万人の増加となっており、外国人観光客数は953万人で、前回と比べ123万人の増加となりました。

これらの要因としては、中国及び東南アジア諸国の査証発給要件の緩和措置や継続的な訪日プロモーションのほか、航空路線の拡大等の積極的な外国人観光者誘致への取組みにより、訪日外国人旅行者が増加したことで、台東区への来訪も増加したことが考えられます。

表1 年間観光入込客数の推計

	平成30年
(1) 観光地点等入込客数（実人数）・・・A	3,837万人
<u>内、年間外国人観光客数・・・B</u>	669万人
内、年間宿泊者数	824万人
内、年間外国人宿泊者数	206万人
(2) 行事・イベント観光入込客数（延べ人数）・・・C	1,746万人
<u>内、年間外国人イベント来訪者数・・・D</u>	284万人
(3) 年間観光客数（A+C）	5,583万人
内、外国人観光客数（B+D）	953万人

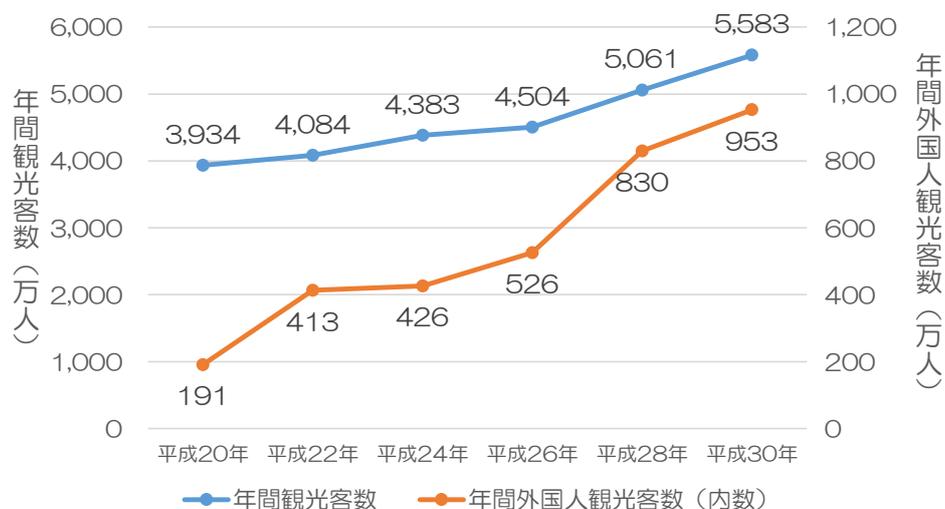


図1 年間観光客数の推移

2 観光消費額

来訪者パラメータ調査により、区内での観光消費額を推計した結果、前回（平成28年）と比較して、年間観光消費額は2,342億円の増、1人当たりの観光消費額は3,703円の増となりました。

消費額の高い訪日外国人観光客数の増加が、1人当たりの単価が増加した要因の1つであると考えられます。また、1人当たりの単価及び年間観光客数の増加により、台東区全体の観光消費額が増加しました。

表2 属性別の観光消費額単価結果

区分		内訳		
		都内在住者	都外在住者	海外在住者
宿泊客	観光目的	11,834円	11,779円	32,863円
	ビジネス目的	20,786円	20,994円	24,820円
日帰り客	観光目的	3,977円	6,210円	6,833円
	ビジネス目的	1,641円	7,511円	7,855円

表3 年間観光消費額の推計結果

	平成30年	前回との差	平成28年
	飲 食	1,184億円	334億円
買 物	1,526億円	626億円	900億円
入場料・交通費等	999億円	691億円	308億円
そ の 他	467億円	442億円	25億円
宿 泊	839億円	250億円	589億円
観光消費額 台東区合計	5,014億円	2,342億円	2,672億円
台東区観光客数	5,583万人	522万人	5,061万人
1人当たりの消費額	8,982円	3,703円	5,279円

※数字の単位未満は、端数処理してあるため、合計の数値と内訳の計が一致しない場合がある。

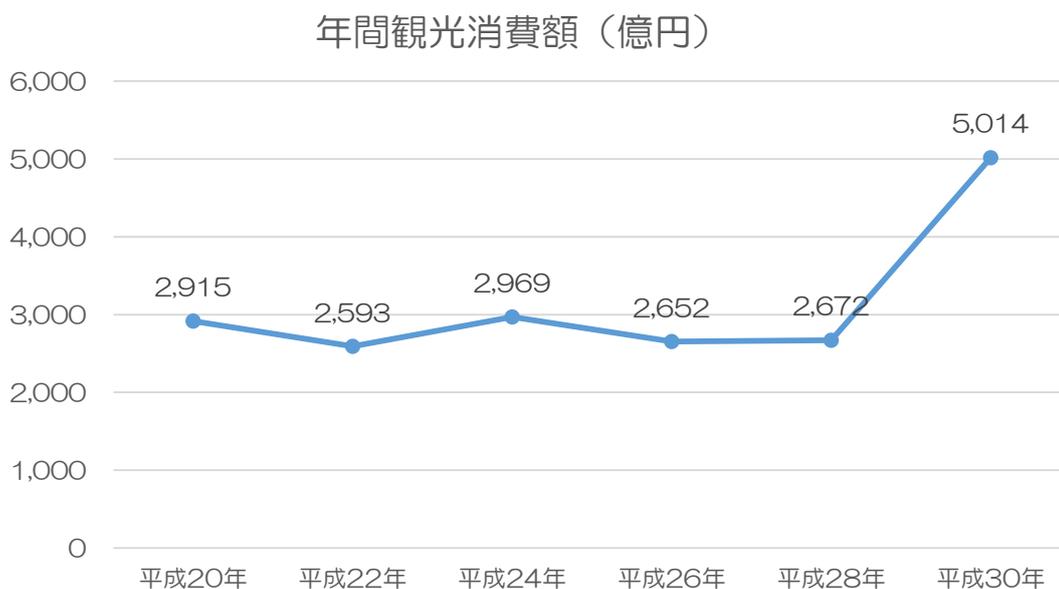


図2 観光消費額の推移（台東区全体）

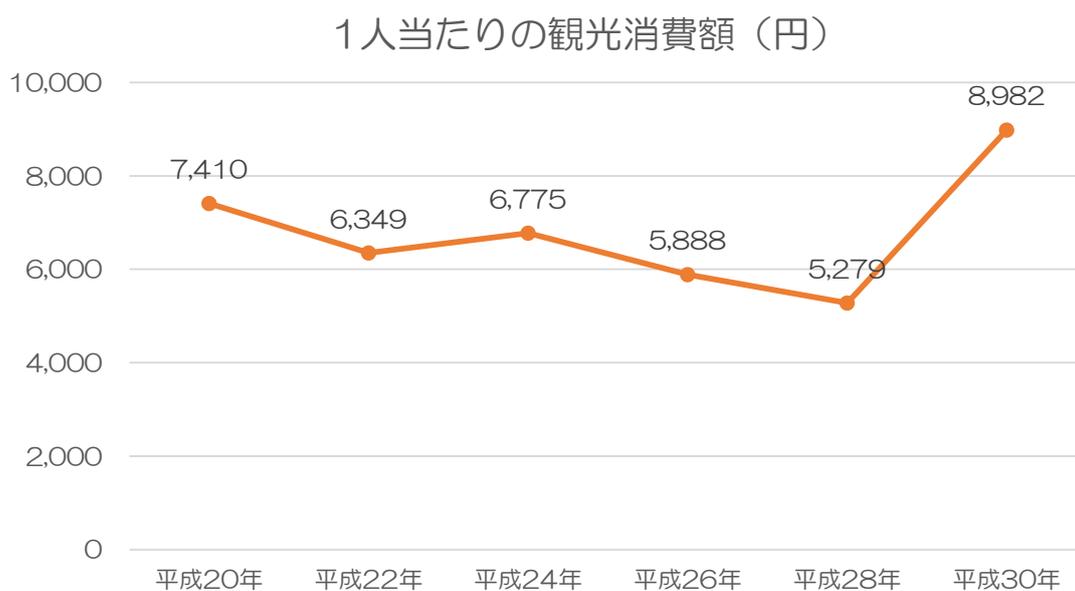


図3 観光消費額の推移（1人当たりの単価）

3 滞在時間

来訪者パラメータ調査による来訪者の平均滞在時間は台東区全体で2時間00分となり、前回（平成28年）の調査よりも1時間減少する結果となりました。また、来訪者の滞在時間3時間以上の割合は29.0%でした。

東京都内の開発が進み、台東区外に多くの新しい観光関連施設ができたことにより、都内での周遊性が高まったことが、台東区内の滞在時間が減少した要因の1つとして考えられます。

○平均滞在時間

表4 平均滞在時間

区分	内 訳		
	都内在住者	都外在住者	海外在住者
宿泊客	1.0泊	1.0泊	4.0泊
日帰り客	2時間00分	2時間00分	2時間00分

※宿泊者については、泊数によって乖離するため、宿泊数で比較しました。

※平均滞在時間は「中央値」で算出。

中央値とは、全標本のうち、ちょうど真ん中の順位にある標本の数値を指します。標本数が偶数の場合は、真ん中に最も近い二つの標本の数値を足して、二で割った数値が中央値になります。

表5 平均滞在時間（前回との比較・国内在住者のみ）

	平成30年		平成28年
		前回との差	
全 体	2時間00分	-1時間	3時間00分

○滞在時間3時間以上の割合

表6 滞在時間3時間以上の割合

区分	内 訳		
	都内在住者	都外在住者	海外在住者
日帰り客	24.2%	32.2%	40.4%

表7 滞在時間3時間以上の割合（前回との比較・国内在住者のみ）

	平成30年		平成28年
		前回との差	
全 体	29.0%	-24.0%	53.0%

4 来訪回数

来訪者へのアンケートで台東区への来訪回数を調査した結果は、表8・9のとおりです。「初めて」と答えた人は、前回（平成28年）の調査と比べ11.1%減少しました。2回以上のリピーターが占める割合（リピート率）は、前回より11.1%増えましたが、特に10回以上の多数来訪者が52.2%と前回調査と比べ16.2%増えました。

国内在住者は9割以上がリピーターであり、台東区の観光資源や事業、施策に魅力を感じている人が多いことが理由として考えられます。一方、海外在住者は6割以上が初めての来訪者であり、前述したように、中国及び東南アジア諸国の査証発給要件の緩和措置や継続的な訪日プロモーションのほか、航空路線の拡大等の積極的な外国人観光客誘致への取組みにより、全体の訪日外国人旅行者が増加したことが要因であると考えられます。

表8 台東区への来訪回数

区分	内 訳		
	都内在住者	都外在住者	海外在住者
初めて	0.9%	7.9%	66.0%
2～4回	11.9%	24.3%	27.7%
5～9回	18.0%	24.1%	3.6%
10回以上	69.2%	43.7%	2.7%

表9 台東区への来訪回数（前回との比較・国内在住者のみ）

区分	平成30年			平成28年	
			前回との差		
初めて	5.6%		-11.1%	16.7%	
2～4回	94.4%	20.1%	-9.2%	83.3%	29.3%
5～9回		22.1%	+4.1%		18.0%
10回以上		52.2%	+16.2%		36.0%
	(+11.1%)				

5 来訪者の台東区の印象

国内在住者・海外在住者とも、良かったこととして、「名所・旧跡、博物館・美術館」が最も多く、続いて「食事・買い物」が上位を占め、台東区の特徴ある観光資源の豊富さや利便性が支持されていると考えられます。一方、残念だったこととしては、全体的な割合として低いものの、国内在住者・海外在住者とも、「人の多さ（混雑）」、日本人で「トイレ」、外国人で「案内標示」などが指摘されています。

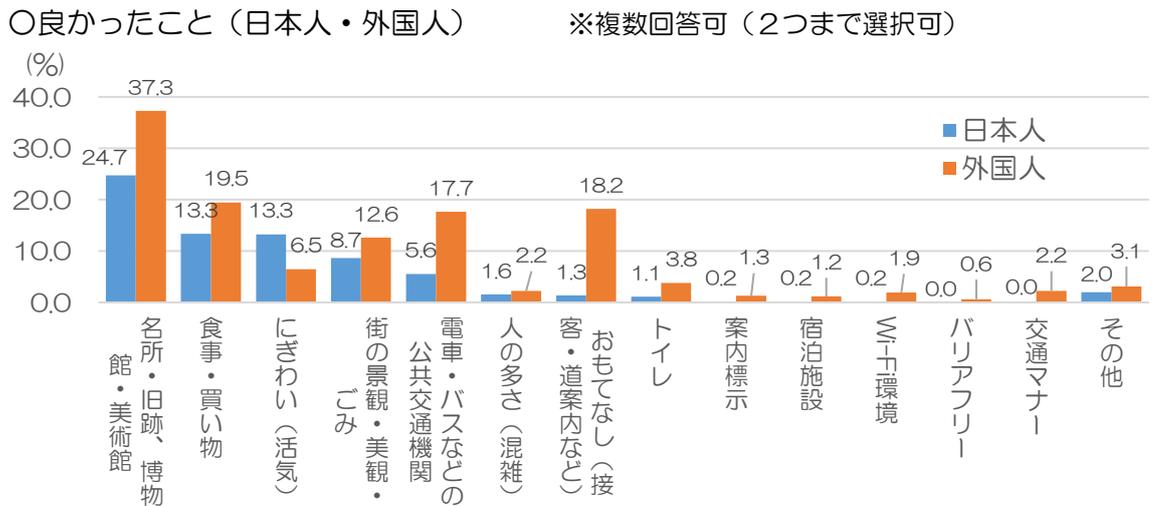


図4 良かったこと

（回答者数 国内在住者：1,378人、海外在住者：640人）

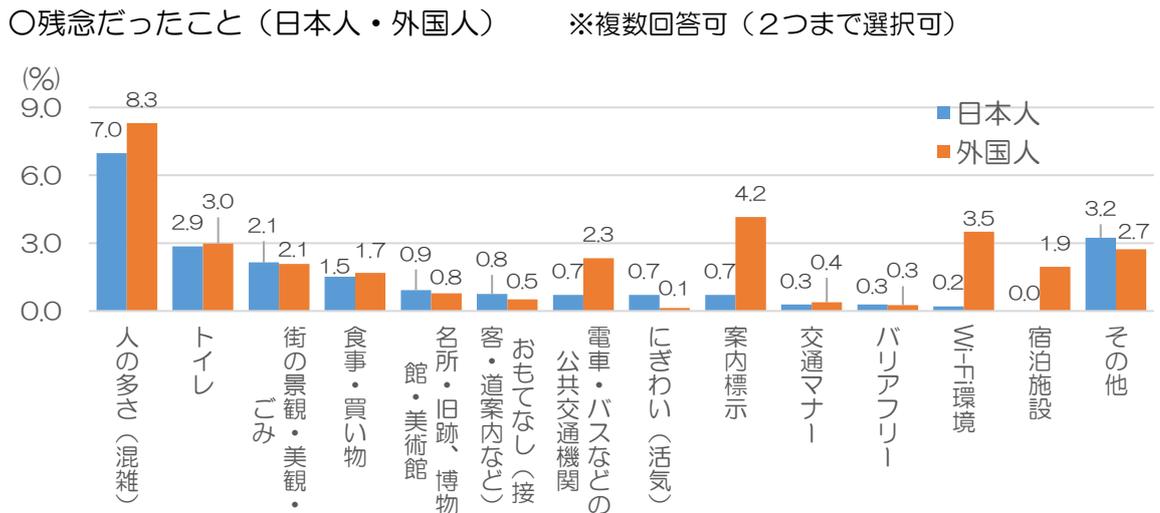


図5 残念だったこと

（回答者数 国内在住者：478人、海外在住者：219人）